

2023年 3月 31日 現在

(単位：千円)

*当期純損失 217,226千円

*当期純損失 217,226千円

個別注記表

会計期間：2022年4月1日～2023年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に対応する金額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金支払に備えるため、当期末における退職慰労金支払債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

発生主義によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引の内、契約額が300万円を超えるものはリース資産に計上し、300万円以下のものは通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税は税抜方式によっております。

(6) 不動産の減損処理実施について

広島ビルおよび広島パーキングタワーの建替に伴う取壊しの決定に伴い、広島ビルおよび広島パーキングタワーの全資産をそれぞれ備忘価額1円まで減損処理を実施して、減損損失397,181千円を計上しております。